

# 平成30年度スポーツトレーニング教育研究センター事業報告書

スポーツトレーニング教育研究センター長 山本 正嘉

## I. 主に取り組んだ事業（特記事項）

### 1. アスリートドックプロジェクト

本学の様々なスポーツ種目の学生を含めて、子供からシニア選手までの幅広い年代の、多様な競技種目のアスリートを対象として、競技力向上のための体力・技術の評価を行い、それをフィードバックする「アスリートドックプロジェクト」を実施するとともに、それらの成果を学術論文として公表した。

### 2. 子供の体力向上プロジェクト

本センターの研究協力校と連携し、学校教育の中で実施可能な、児童生徒の体力を増進するための運動プログラムを開発する「子供貯筋プロジェクト」を実施するとともに、それらの成果を学術論文として公表した。

## II. 事業報告

### 1. 教育（授業に関するものを除く）プロジェクト

該当なし

### 2. 研究プロジェクト

#### ① アスリートドックプロジェクト

本学の種競技選手（バスケ、バレー、体操、自転車など）を対象とした研究（山本）

高校生の自転車競技および柔道選手を対象とした研究（山本、藤田）

中学生のバレーボール選手および一般生徒を対象とした研究（高井、藤田）

小・中学生の柔道選手を対象とした研究（藤田）

スポーツ選手・登山者のための低酸素トレーニングプログラムの開発（山本）

#### ② 学校現場で活用できる体力向上を促す運動プログラムの開発

小学生を対象とした研究（高井）

### 3. 社会連携・社会貢献プロジェクト

① 鹿児島県教育委員会と連携して、スポーツ指導者のための再研修セミナー「スポーツリフレッシュセミナー」を、1泊2日で開催した（山本）

② 福岡県柔道協会・九州柔道協会と連携して、福岡県小・中学生柔道選手ならびに九州各県の中学生選抜選手の体力測定を実施した（藤田）

### 4. その他

① スポーツカウンセリング室を運営した（山本）

### Ⅲ. 決算報告

#### 1. 教育プロジェクト関係

区分	金額	備考 (使用内容)
人件費	0 千円	
物件費	0 千円	
その他	0 千円	
計	0 千円	

#### 2. 研究プロジェクト関係

区分	金額	備考 (使用内容)
人件費	2 1 千円	研究協力校に対する謝金
物件費	2, 0 8 4 千円	消耗品、修繕費等
その他	6 千円	医療廃棄物処理費等
計	2, 1 1 1 千円	

#### 3. 社会連携・社会貢献プロジェクト関係

区分	金額	備考 (使用内容)
人件費	0 千円	
物件費	5 0 千円	ニューズレター
その他	2 7 0 千円	研究協力担当教員旅費、ニューズレター発送費等
計	3 2 0 千円	

#### 4. その他

区分	金額	備考 (使用内容)
人件費	3 2 8 千円	カウンセリング室運営
物件費	2, 2 2 9 千円	無機脚パワー測定器、心拍動分析キット等
その他	3 千円	郵送料等
計	2, 5 6 0 千円	

### Ⅳ. その他

#### 1. 発刊物

『スポーツトレーニング科学』第20巻の刊行 (平成31年3月)

『トレセンニューズレター』第23号の発行 (平成30年12月)

#### 2. 開催会議状況

本センターの協力校等連絡会議の開催 (平成30年7月)

\*以上の事業に関する報告の詳細は『スポーツトレーニング科学』20巻(1-71頁)に記載